



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第95号(2011年12月30日)



【カタールの債券市場の発展】

カタールの中央銀行によれば、今年の年末にカタールの国債が同国の取引所に上場されたそうです。これはカタールの歴史上初めてのことです。

これを手始めに、他の債券やいわゆるスクーク(イスラム債)も上場するとされており、同国の債券の流通市場の発展に繋がると期待されています。

従来中東諸国は欧州において資金調達することが多かったようですが、来年も欧州では極めて多額の国債が発行されると見込まれており、欧州に加えて自国の債券市場も活用して資金調達するニーズが高まっていると分析されています。

カタールは、2011年に入って米ドル建て債券を総額約50億ドル起債しており、中東において2番目に大きな発行体となっています。尚、湾岸協力会議全体では今年は約275億ドルを米ドル建てで調達しています。

2011年はカタールの企業の起債はあまり活発ではなかったとされていますが、来年は多額の資金調達がなされると期待されています。

また、債券市場の発展にあわせてベンチマークとなるべき債券の売り出しや、新たなスクークの発行といった動きがカタールの大手銀行の間で見受けられます。

今後更なる発展として、国債の発行を増やしてイールドカーブを形成することなどが含まれているとされています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ドバイの新紙幣】

ドバイ政府は11月に新しい500ディルハム紙幣の流通を決め、12月には市中で新紙幣が流通されていますが、多くの銀行のATMで新紙幣が受け付けられない問題が生じています。

新紙幣が実際に供給される前に銀行側で必要な対応をとる時間が十分ではなかったという声が挙がっており、解決には数週間かかるとされています。

多くの銀行ではATMに注意書きを貼っており、多くの顧客はATMを使うために新紙幣を他の紙幣に交換することを強いられています。

【流動性危機により、超高層タワーも延期に】

ドバイにおいて2番目に高層とされる「pentamium」の建築が延期になりました。開発にあたるトライデント社が資金繰りに困っていることが原因です。

「pentamium」はドバイマリーナにおける516mの超高層タワーで、2013年完成の予定でした。しかし資金的な要因から、今年8月に建設が止まりました。

「pentamium」は世界的な不動産の賞にもノミネートされ、完成した際には中東におけるもっとも先進的なビルの一つになるだろうと言われています。

シティグループの集計によれば、アラブ首長国連邦において今年の10月末時点の過去1年間の建設停止のプロジェクト総額は9,580億ドルにも及びます。

アラブ首長国連邦における不動産開発が再び活発になるまでには暫く時間がかかるかもしれません。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【サウジアラビアで外資系航空会社が参入か】

サウジアラビアには現在2つの航空会社があります。1社目は中東で最も大きな航空会社の一つであるサウジアラビア航空です。サウジアラビア航空は国有企業ですが、段階的に民営化される予定でIPOも計画されています。2社目はいわゆる格安航空会社のサウジ・エア・サービスです。他にもう1社ありましたが、昨年営業を停止しています。

サウジアラビアの航空当局によれば、現在外資系の航空会社の国内での運航の参入を認める方向で検討中とのことで、来年1月にも入札が行われると予想されています。年初にも中東の航空会社の参入を検討する旨の話が出ていましたが、時期についてはこれまで明らかにされていませんでした。

【欧州債務危機の影響】

ドバイの不動産向けの貸し出しは昨年よりは回復しているもののまだ回復途上にあります。しかし、欧州債務危機の影響がドバイの不動産向けの貸し出し市場にも現れるという予測が出ています。欧米の金融機関が銀行間市場での貸し出しを絞り、それがアラブ首長国連邦の金融機関にも影響を及ぼすことが理由として挙げられています。また、アラブ首長国連邦の銀行における預金残高も減少に転じており、こちらも一因として挙げられています。

資金調達コストも高まっており、銀行間市場における1週間物の貸出金利も徐々に上がっているとのことです。

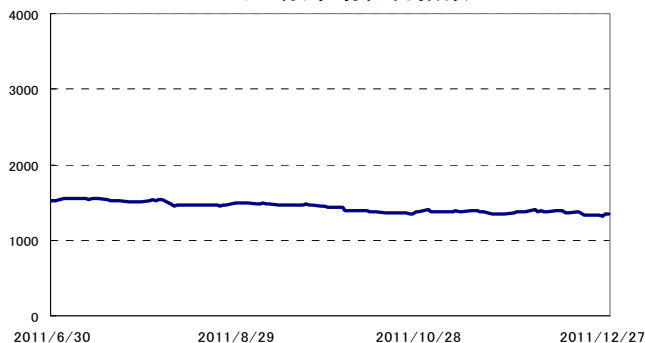


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

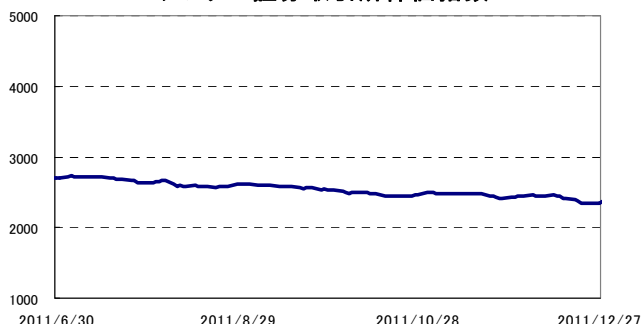


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近6ヶ月)

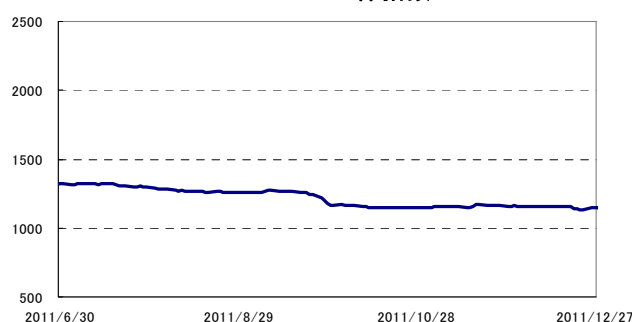
ドバイ金融市場総合指数



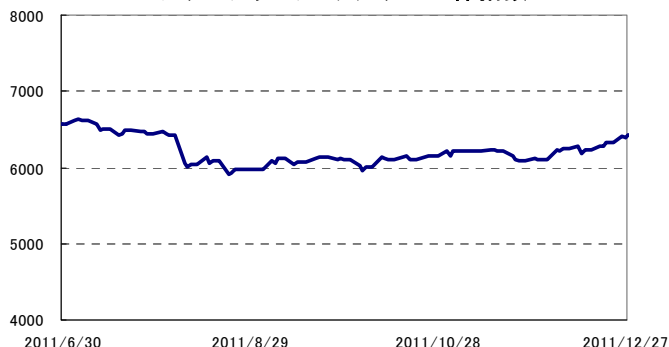
アブダビ証券取引所株価指数



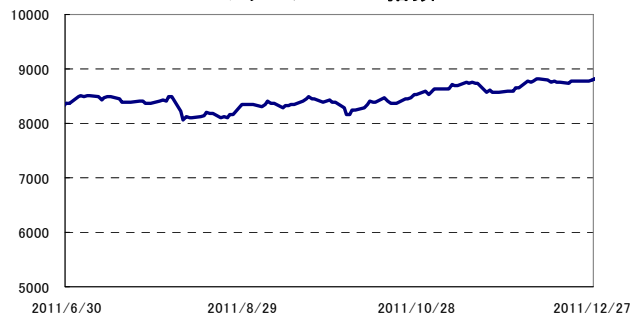
バーレーン全株指数



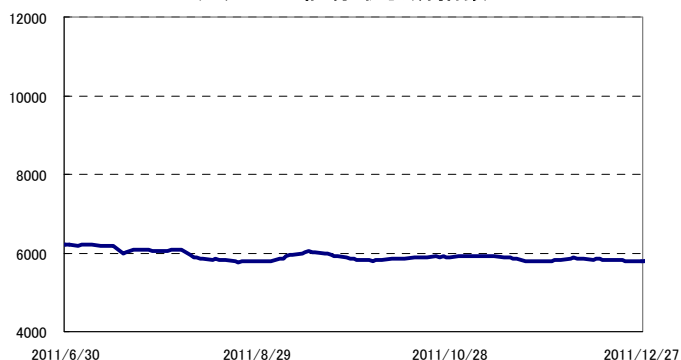
サウジアラビア タダウル全株指数



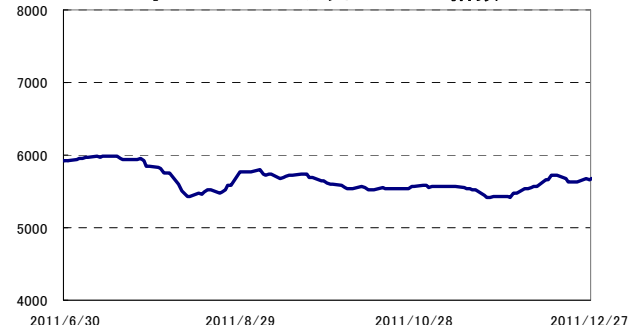
カタール DSM指数



クウェート証券取引所指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。